



## 相手を知ること

神戸市立平野中学校 2年 清水 久瑛

相手を知ること。それは、私がこの研修で学んだことの中でも、一番大切だと思ったことだ。その理由は、枯葉剤被害者の旧兵士と、その子供達の生活・治療を目的としたフレンドシップビレッジにある。

フレンドシップビレッジにいる子供達は両親と離れて生活している。そのことに、私は大きな衝撃を受けた。これは、事前に受けたフレンドシップビレッジでの活動内容の説明がすっぽりと抜け落ちてしまうほどの衝撃だった。ふれ合った中には、5~6歳くらいの小さな子供達もいた。それほど小さい頃から親と離れなければいけないという現実をいたたまれない気持ちを感じた。

また、フレンドシップビレッジでは、フエから北ベトナムまでの被害者が集まっているのだが、一般市民の中にも被害者が多数いたにもかかわらず、人数が多すぎて受け入れきれないので、旧兵士とその子供しか受け入れていないようだ。

今までベトナムの枯葉剤被害の問題についてはなにも知らなかったが、これらの事実を知って、もっと支援が必要なのではないかと思った。相手を知り、必要としていることは何かを考えることで、本当の支援ができるのではないかと考えた。

ベトナムへ行き、さまざまなことを見て、また、それぞれ違う視点を持った人達と話をすることで、自分の視野が広がっていくのを感じた。私の経験も、他の人の視野を広くすることに役立つかもしれない。そのために、私がこの研修で学んだことを多くの人に伝えていきたい。